



歌浦っ子だより (学校だより)

「やさしい心 夢かがやく 歌小の子ども育成」

平成29年11月30日 文責:校長 内野義和

学力テストの結果

学習発表会も終わり、11月後半からは、学力向上に力を入れています。本校の子供たちは、心育ちも、体力向上もよくできています。ただ、学力向上が課題です。

4月18日(火)に行われた全国学力調査(6年生実施)では、次のような結果になりました。(A問題とは、「基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題」です。B問題とは、「基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題」です。)

国語A問題では、全国平均を少し下回りました。

国語B問題では、全国平均を少し上回りました。

算数A問題では、全国平均をわずかに下回りました。

算数B問題では、全国平均を少し下回りました。

また、同じ4月18日(火)に行われた長崎県学力調査(5年生実施)では、次のような結果になりました。

国語では、県平均を大きく上回りました。

算数では、県平均を少し上回りました。

さらに、同じ4月18日(火)に行われた佐世保市学力調査(4年生実施)では、次のような結果になりました。

国語では、全国平均・市平均を少し下回りました。

算数では、全国平均・市平均を少し下回りました。

昨年度から、全国学力調査、長崎県学力調査、佐世保市学力調査、市販の学力テストの結果を見ますと、本校の学力は少しずつ向上しています。全国平均を上回りつつあります。

サポートティーチャーの熊谷厚生先生、坂口福男先生、山下由紀子先生や、チャレンジ先生の前田稔光先生、前田美枝子先生、中野文雄先生、中野淳子先生、山之内スエ子先生、柴田登喜子先生、金城和希先生(佐世保市地域おこし協力隊の方で、後期から1年生のチャレンジ先生として支援していただいています)の支援のおかげでもあります。また、先生たちが先学習を中心として、授業改善に取り組んできた成果だと思えます。

しかし、調査やテストの結果を分析しますと、依然として読解力、作文力、思考力に課題がありました。

後期後半の1月12日(金)に国語・算数の市販の学力テストを行います。この1年、学力向上に取り組んできましたが、成果が出せるよう、最後のまとめをこれから行います。結果は2月初旬に出ます。また、この学校だよりでご報告します。

家庭学習の習慣化

11月1日に学校から配布しました「学校保健委員会だより」を読まれたと思います。その中で、衝撃的なアンケート結果が書かれていました。本校の児童の半数以上(53%)が平日のテレビ視聴2時間以上という結果です。4時間以上6%、3時間から4時間以上12%、2時間から3時間以上35%という結果です。

学校から帰るのが17時、就寝が21時として4時間あまりの時間をほとんどテレビをみることに使っている子が4分の1以上(28パーセント)いることになります。これはあくまでテレビ視聴だけの結果です。これにゲームまでしているとしたら、宿題は一体どうしているのでしょうか。

子供たちの登校の様子を見ていましたら、全員が元気なあいさつをしてくれます。また、7時30分までには全員が登校します。ご家庭で「早寝、早起き、朝ごはん」を進めていただいているおかげです。あとは、家庭学習の習慣化だけです。

本校の課題、学力向上のためには、学校の努力、地域の協力だけでは限界があります。家庭での学習が習慣化して、学校、家庭、地域が一体となっていくことが重要です。家庭学習が習慣化すると、学校で学んだことが定着していくのです。

本校では、「家庭学習の手引き」を作成・配付し、ご家庭の協力を呼びかけています。その中に学習時間の目安を、低学年20分～40分、中学年40分～60分、高学年1時間以上としています。

全国学力調査で、毎年全国上位の結果である秋田県に、先週、本校の教員が視察に行ってきました。やはり学力向上の鍵は、学校だけの努力ではなく、家庭との連携、とりわけ家庭学習の習慣化だと言われたそうです。テレビの視聴時間を決めたり、ゲームのルールを決めたりして、子供たちが学年に応じて毎日、目安の時間、家庭学習をしていくよう、ご家庭での協力や環境づくりをよろしく願っています。

